

地域にもっと

のめっこい

理事長

平岡 浩房



ごあいさつ

皆さまにおかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より青梅信用金庫に対し格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

本年も、当金庫へのご理解を一層深めていただくために、「2024 Disclosure」を作成いたしました。当金庫の経営方針や業績、地域社会への貢献活動等につきまして、ご報告いたします。

2023年度の日本経済は、コロナ禍からの脱却・正常化が進み、中でも落ち込んでいたインバウンド需要は順調な回復を見せております。しかしながら、地域経済におきましては少子高齢化の進展に伴う慢性的な人手不足や物価高騰等により、業況がコロナ禍前の水準まで回復していない中小企業も見受けられます。また2024年3月、日本銀行のマイナス金利政策が解除されたことにより、金融機関を取り巻く環境は「金利のある世界」へと動き出し、企業や家計においても新たな対応が求められることとなりました。

このような環境の中で、当金庫は「地域の成長 輝く未来」をテーマとした中期経営計画の最終年度として、金融仲介機能の発揮により、積極的にお客さまの課題解決に取り組んでまいりました。また、地域の未来を担う子どもたちのために創設した「あおしん“TASUKI”寄附金」の贈呈を開始し、営業店所在地の23市区町に総額500万円を寄附いたしました。

2024年度は、3ヵ年にわたる新しい中期経営計画の初年度となります。

この中期経営計画では「地域と共に未来へかける」をテーマとして掲げ、地域の持続的発展に向けた“のめっこい伴走支援”の実践に取り組んでまいります。具体的には、地域の皆さまから信頼され選ばれ続けるあおしんであるために、対話を通じた課題解決型の営業活動、事業者や個人の皆さまのライフステージに応じた支援、これらを実践していく営業体制の充実に取り組み、持続可能な地域社会づくりに貢献してまいります。

これからも“のめっこい信用金庫”として、地域経済・社会の活性化に貢献できるよう役職員が一丸となり取り組んでいく所存でございます。

何卒、倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

2024年7月

企業理念

わたしたちは、自然と文化に恵まれたこの地域とともにあって、産業の発展と豊かなくらしの実現に貢献します。

あおしんの役職員全員は、地域金融の担い手として、事業活動を展開するエリアと共生し、この地域で事業展開する中小企業の成長・発展とここに生活する人々が求める豊かなくらしの実現を目指し、あおしんがお客さまに対してお役に立つことを宣言します。

経営方針

信頼

あおしんの経営は、何よりもお客さまの信頼を基盤にしており、それは、「この地域のお客さま」「ここに働く役職員」つまりあおしんを取り巻く人と人との関係を大切にすることであり、その基本となるコミュニケーションを大切にすることです。

中期経営計画

2023年度は「地域の成長 輝く未来」をテーマにした中期経営計画の最終年度として、「経営支援によるお客さまの価値向上」を基本方針に、地域社会の発展やお客さまの豊かなくらしの実現に努めてまいりました。

何でも相談できる“のめっこい信用金庫”として、これからも皆さまのご期待に応えられるよう積極的に取り組んでまいります。

重点課題

1. 適切な金融サービスの提供
2. 強固な経営基盤の確立
3. 次世代に向けた人材育成と体制整備

計数目標

	3ヵ年目標(2023年度末)	2023年度実績
自己資本比率	10%以上	11.99%
不良債権比率	3%台	3.95%
当期純利益	20億円	39億円

“のめっこい”とは

秩父、丹波山及び北関東地方で発祥した言葉といわれ、西多摩や埼玉県南西部の一部でも使われています。もともと「(肌が)すべすべしている」、「(うどんの)のど越しが良い」などを表す言葉で、この「滑らかさ」を人間関係に置き換えて「親しみやすい」という意味でも使われます。

あおしんの
CSR(企業の社会的責任)活動
3～11

2023年度のトピックス
12

2023年度 業績のご報告
13～17

主な業務のご案内
18～22

あおしんの
SDGsへの取り組み
23～24

あおしんが応援する
“美しい多摩川フォーラム”
25～26

会員の意見を反映する総代会
27～28

コーポレート・ガバナンス
(企業統治)の状況
29

リスク管理とコンプライアンス
(法令等遵守)の態勢
30～32

店舗ネットワーク
33～34

組織及び役員
35

資料編/財務諸表
36～50

資料編/連結情報
51～55

資料編/自己資本の充実の状況
56～68

開示項目一覧
69

沿革
70